

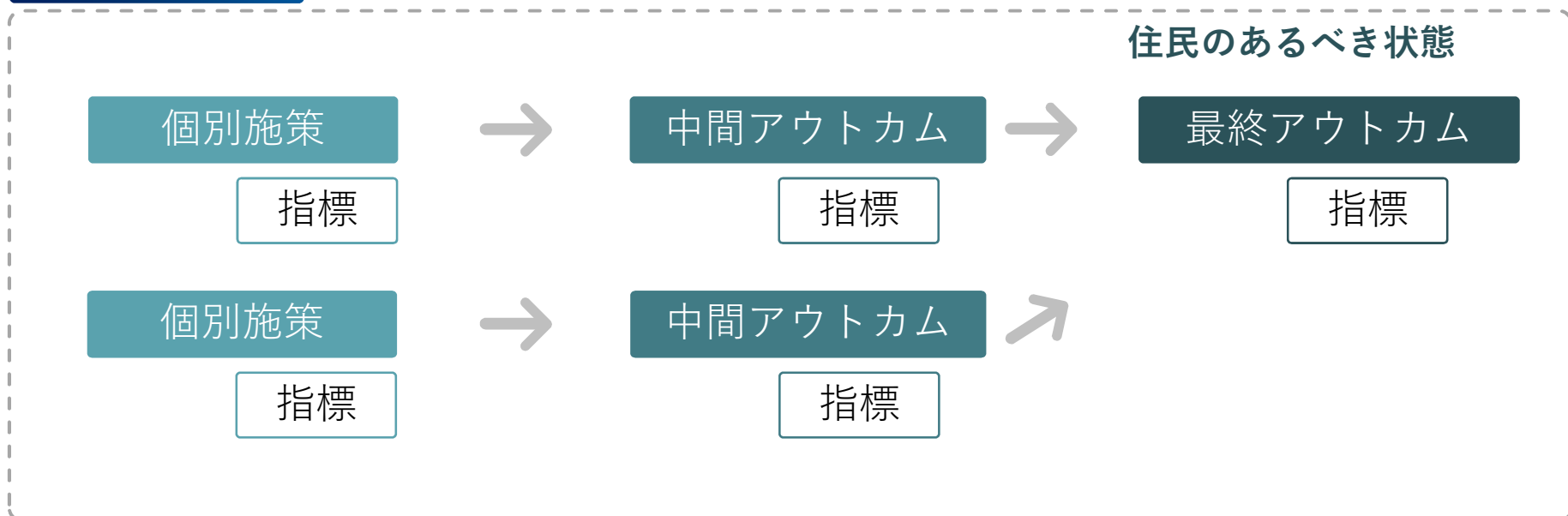
第8次三重県医療計画（在宅医療）の ロジックモデルの活用について

【ロジックモデルの活用】 ロジックモデルとは

ロジックモデルとは

- 施策が目標とする成果を達成するに至るまでの論理的な関係を体系的に図式化したもの。
- 国の改正後指針において、施策の検討や計画の評価の際、また各々の施策と解決すべき課題との連関を示す際に、各都道府県においてロジックモデル等のツールの活用を検討することとされた。

イメージ図



【ロジックモデルの活用】 導入効果

ロジックモデル導入による効果

- 各計画の段階（現状把握、策定、評価、見直し等）に活用することで、PDCAサイクルの質の担保が期待でき、数値目標と施策の関連性を明確化できる。
- ロジックモデルの考え方を計画本文に落とし込むことで、論理的な計画の策定に繋がる。
- 一方、各疾病・事業等において、標準的なアウトカムの設定が難しい場合や、経年的な指標データの取得が困難な場合もある。

現 状

- 第7次三重県医療計画においては、ロジックモデルを導入しておらず、数値目標と施策の関連性が明確化されていない。

第1回在宅医療推進懇話会の議論の結果

- ロジックモデルの活用・考え方の共有。
- 在宅医療の質の評価に関する指標が必要ではないか。
- ロジックモデルに関する意見をいただくことにした（資料1－2）参照。